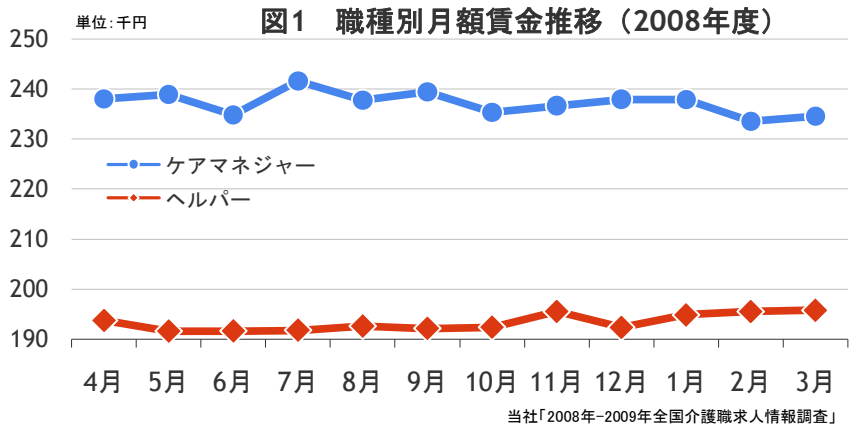


Vol.1 ～進む介護職の非正規化～

当社の介護転職者調査によると、正社員を希望する割合が低下傾向にある。これは給与が横ばい傾向にある介護職にあって、パートタイマーを志向する非正規社員が増加していることを示唆している。厚生労働省の発表した介護職への月15千円の交付金制度も効果は限定的であり、ますます「介護職の非正規化」が進むと考えられる。

介護職の給与は ほぼ横ばい傾向

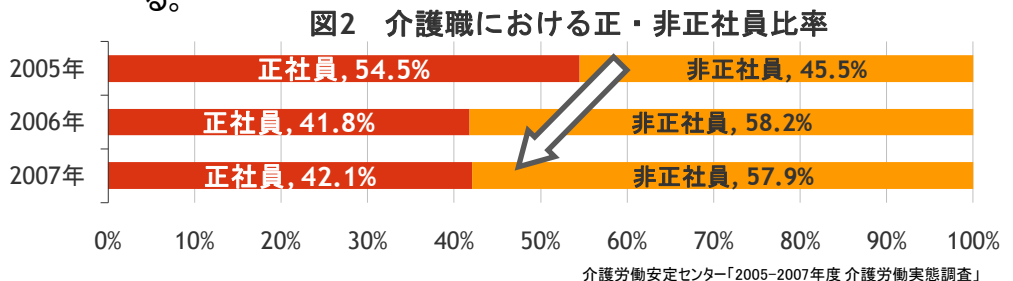
当社調査によるとヘルパー職の2008年4月の求人月額給与は194千円、2009年3月で196千円(4月対比101.1%)、介護支援専門員(以下、ケアマネジャー)職の2008年4月の求人月額給与は238千円、同2009年3月で234千円(同98.5%)とほとんど横ばい傾向が続いている(図1)。



介護職員の正社員比率は 減少傾向 (介護職員の就業形態)

次に介護職員の就業形態を見てみると、2005年の厚生省調査によると非正社員の比率が45.5%であったのに対して、2007年の同調査では57.9%まで上昇している(図2)。

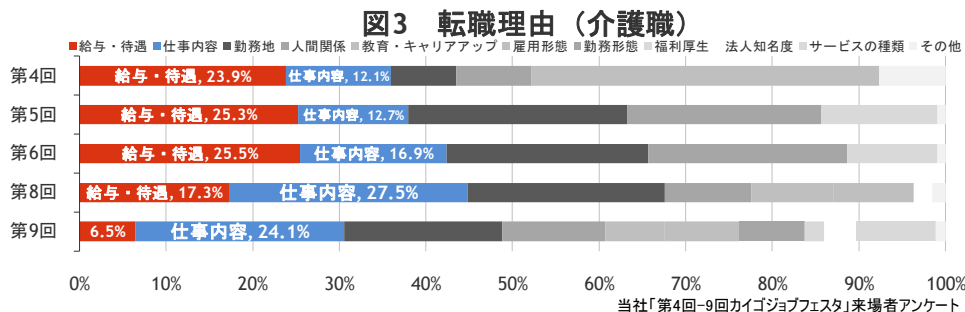
その背景には、何らかの従事者側のニーズの変化があるものと推察される。



このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、株式会社エス・エム・エスは、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートは、株式会社エス・エム・エスから直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は株式会社エス・エム・エスに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

「給与・待遇」を転職の重視項目としている比率が減少

当社が主催する介護特化の転職フェア「カイゴジョブフェスタ」の来場者アンケート調査によると2007年12月の調査で「給与・待遇」を重視すると答えた割合が23.9%であったのに対して、2009年3月の調査では同6.5%と、「給与・待遇」に関する関心が薄れてきている(図3)。

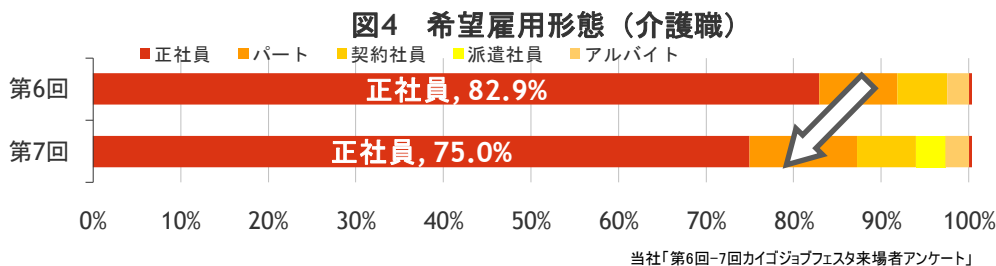


一方、「仕事内容」を重視すると答えた割合が2007年12月の調査で12.1%であったのに対して、2009年3月の調査では同24.1%と「仕事内容」を重視する割合が高くなってきている。

給与水準がそれほど良くない現状において「給与・待遇」を重視する割合が下がっている現状から、そもそも母集団の質が変遷している可能性が大きい。

パートタイマーを志向している介護職員が増加傾向

「カイゴジョブフェスタ」の来場者アンケート調査によると2008年6月の調査で「正社員」を希望すると答えた割合が82.9%であったのに対して、2008年9月の調査では同75.0%と減少。潜在介護職員層の中に、非正社員を希望する人の割合が増えてきている(図4)。

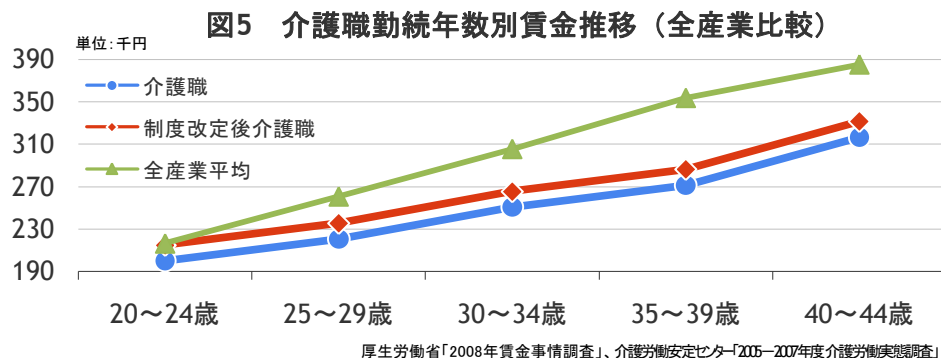


これは介護の担い手が「経験を積み、専門性を築いていく人々」から、「ライフスタイルに合わせたフレキシブルな勤務体系を志向する人々」に移りつつあることを示唆している。

厚生労働省の新経済対策 では、交付総額のみならず、 その配布方式が肝要

厚生労働省が4月8日発表した「介護職員処遇改善交付金」(仮称)で今後3年間、介護職員の賃金として、一人当たり月15千円を交付することになった。近年、要介護者の増加に伴い介護従事者の人手不足は年々深刻となっており、国としても介護の担い手を増やす施策を検討した結果、今年度からの介護報酬料3%アップだけでは介護従事者の待遇向上には十分でなく、今回の賃金直接交付に踏み切ったと考えられる(3年後の財政措置は未定。)

今回の直接賃金交付により、依然として賃金格差は大きく(図5)、他業界からの流入を大幅には見込みにくいものの、全般的には若干の待遇改善は見込めるものと思われる。(交付前における、全産業の労働者平均実賃金月額:377千円、介護労働者の平均月額:214千円)



ただし、交付金による賃金増加が、専門性またはキャリア形成促進への適切なインセンティブとならず、単なる賃金の底上げに終わってしまうと、依然として、勤続年数が多くなるにつれての給与格差が広がっていく構造は変わらず、介護職員の非正社員化の流れは今後も続く可能性は高い。

参考文献

厚生労働省「国勢調査」「2008年賃金事情調査」

介護労働安定センター「2005-2007年度介護労働実態調査」

国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2006年12月推計)」

株式会社エス・エム・エス主催
「カイゴジョブフェスタ」
過去開催概要

第4回(2007/12)	: 全国5会場	来場者合計840名	アンケート数322名
第5回(2008/2)	: 全国4会場	来場者合計1,307名	アンケート数632名
第6回(2008/5)	: 全国5会場	来場者合計994名	アンケート数627名
第7回(2008/9)	: 全国5会場	来場者合計966名	アンケート数703名
第8回(2008/12)	: 全国5会場	来場者合計1,256名	アンケート数1,096名
第9回(2009/2)	: 全国5会場	来場者合計1,474名	アンケート数1,343名

このレポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されていますが、株式会社エス・エム・エスは、その正確性および完全性に関して責任を負うものではありません。このレポートは、株式会社エス・エム・エスから直接提供するという方法でのみ配布いたしております。提供されましたお客様限りでご使用ください。このレポートのいかなる部分も一切の権利は株式会社エス・エム・エスに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。